

第16回柏崎市学区等審議会 概要報告

1 日 時 令和5年(2023年)1月26日(木)午後6時30分～午後7時30分

2 会 場 柏崎市役所1階 多目的室1、2

3 出席者

- (1) 委員 14名 阿部会長、徳永副会長、池嶋委員、大谷委員、北村委員、
小林(眞)委員、関矢委員、遠山委員、中村(豊)委員、
中村(義)委員、拝野委員、宮坂委員、山田委員、吉田委員
- (2) 事務局 7名 宮崎教育部長、田辺教育総務課長、池田学校教育課長、
矢沢学校教育課主幹、伊比教育総務課課長代理、清水主査、宮川主事
- (3) 傍聴者 1名
- (4) 報道 2名

4 都合により欠席した委員 6名 五十嵐委員、片山委員、小林(美)委員、富川委員、
矢代委員、飛田委員

5 会議概要

- (1) 開会あいさつ 阿部会長
- (2) 報告事項
- ① 学区再編方針策定後から、これまでの経過
 - ② 児童数・教職員数の推移
 - ③ スクールバス運行計画
- (3) その他
- ① 次回審議会の日程
2月24日(金) 午後6時30分から
市役所4階 4-3、4-4会議室
 - ② その他
- (4) 閉会あいさつ 徳永副会長

質疑・応答

発言者	発言概要
-----	------

【開会あいさつ】

会 長 : 前回の審議会から2か月以上が経過した。今月から審議会を再開し、第2次の答申を求められている日吉小と中通小、剣野小と鯨波小・米山小の2件の統合案に対する審議を始める。昨年は月2回審議会を開催し、7か月間審議したが、今年は原則、月1回の開催で1年間審議を行うため、作業量はほぼ同じになると思う。ただ、1年間という長丁場の審議となることや統合検討対象校が昨年と比べて1校増え、5校となることから、場面によっては委員への負担も増えることになる。いずれにしても、審議会の基本姿勢は変わっておらず、「児童生徒の望ましい教育環境を第一に公平な視点で客観的

に判断する」ための審議を、委員全員で力を合わせて進めていきたい。
本日は2件の統合案に関連して事務局から3点の報告を受け、質疑を行う。

【報告事項】

会 長 : 学区再編方針策定後からこれまでの経過について事務局の説明を求める。
事務局 : これまでの経過について資料1に基づき説明する。
教育委員会では、令和8年度の統合を計画している地域へ昨年の6月から次のとおり情報提供、説明会を行った。

【日吉小学校区】

○町内会役員 12月7日(水)

(主な意見)

- ・バイパス関連工事も考慮してスクールバスの円滑な運行を考えてほしい。
 - ・統合の一番の目的は子ども達の学力向上なのか。
 - ・再編方針で示されている学校の組み合わせとは別の組み合わせでも良いのではないか。
- PTA役員、保護者 2月17日(金) 説明予定

【中通小学校区】

○町内会役員 6月24日(金)

(主な意見)

- ・児童生徒の不安解消を考えてほしい。
 - ・空き校舎を子どもの遊べる施設にするなど有効利用を検討してほしい。
 - ・スクールバスの利用によって勉強や活動時間が減少しないように対応してほしい。
 - ・統合のメリット、デメリットを詳しく教えてほしい。
 - ・現在、小学1、2年生の子どもは小学校、中学校で2度の統合を経験することになるため、統合のタイミングをもう少し考えてほしい。
 - ・学校というくりだけではなく、中通地区、柏崎市全体のまちづくりも含めて統合問題を考えてほしい。
 - ・加配教員とは1年しか一緒に過ごさないため、心のケア専門の先生が良いのではないか。
 - ・日吉小と中通小が統合した場合でも、学級数、教員数は変わらないため、再編方針の「規模の適正化」は統合のメリットに挙げられないと思う。
- PTA役員 2月1日(水) 説明予定
○保護者を含めた地域全体 2月10日(金) 説明予定

【剣野小学校区】

○町内会役員 12月15日(木)

(主な意見)

- ・どのようなスケジュールで進めるのか知りたい。
 - ・統合に向けて反対意見があっても、市はこの方針で進めるのか。
 - ・他の統合対象校の様子はどうだったか知りたい。
 - ・再編方針の組み合わせ以外は考えていないのか。
- PTA役員 1月27日(金) 説明予定

【鯨波小学校区】

○町内会役員

鯨波地区 12月5日(月)

上米山地区 11月20日(日)

○保護者 1月13日(金)

(主な意見)

- ・統合時期や審議期間、説明会のスケジュールを教えてください。
- ・スクールバスの運行計画はどうなるのか。後々、通学は保護者に任せるなど不便がないようにしてほしい。
- ・広報や新聞、ホームページだけでなく、地域や保護者に向けた情報発信を紙面で行ってほしい。
- ・再編方針で示されている学校の組み合わせとは別の組み合わせは検討しているのか。
- ・小規模校のデメリットだけでなく、メリット、地域とのつながりを十分に考慮してほしい。
- ・少人数だから伸び伸びと学校生活を送れていると考えている。地域や保護者から少人数ということで、不満の声は出ているのか。
- ・鯨波小学校へ学区外通学をしている児童もいる。小規模校の選択肢は与えてもらえないのか。
- ・自力で学校に通うことも大切であり、将来に生きてくる。バスで送ればよいということではなく、子ども達が平等に教育を受けられる基本理念を残してもらいたい。

【米山小学校区】

○町内会役員、PTA役員 12月8日(木)

(主な意見)

- ・地元でも賛否両論ある。統合問題を考えるに当たり、きめ細かに配慮してもらいたい。
- ・仮に統合したとしても、地域との連携、学校の良さを次の学校に取り入れてほしい。
- ・小学校の校舎は地域の避難所、校庭はドクターヘリの離発着所であるため、統合後のことも考えてもらいたい。
- ・学校が統合した後の児童クラブについて説明してほしい。
- ・他の組み合わせは考えられないのか。
- ・米山小学校は2025年に150周年式典を行う予定である。もし統合する場合は統合時期をずらすことはできるか。
- ・子ども達の不安を解消できるように支援してもらいたい。
- ・統合が決まった場合、先に統合となる高柳小と交流し、統合の考え方や課題の解決方法など情報交流をしたい。
- ・まずは「学校の存続ができないか」という議論が先であり、どうしても存続が難しいならば統合の議論に入るとい進め方をしたい。
- ・統合して複式学級から通常学級になると未学習の部分が生じる可能性がある。どのように穴埋めするのか。また、スムーズに移行できるのか。
- ・いくつかの課題を解決してからでないとい一方的な吸収合併のようになり、地域も不満が残る。
- ・要望書を事前に提出すれば、意見交換会の時にある程度の答えをもらえるか。

○保護者 2月3日(金)説明予定

また、2月27日に鯨波地域、2月28日に米山地域への地域全体の説明会を予定している。委員の皆様からも都合がつけば出席いただき、地域の声をお聞きいただきたい。

会 長 : 今の説明に対して質疑はあるか。
委 員 : 統合の組み合わせに対する意見がいくつか挙がったが、今回はその点が重要な論点になると思う。

例えば、日吉小学校と中通小学校が統合した場合でも1学年1クラスで合計6クラスとなり、再編方針で示されている適正規模を満たさない。規模の

適正化という観点から他の小学校も含めた統合も考えられたはずである。なぜ2校の統合が最適と考えたのかを次回説明してほしい。

また、地元への説明会で組み合わせの意見が出た際に事務局がどのように回答したのかも教えてほしい。

- 事務局： 日吉小学校と中通小学校の組み合わせとした理由は次回説明する。
- 委員： 地元への説明会では、組み合わせの考え方について「方針はあくまでもたたき台であり絶対ではない。ただ、統合先を決めるのであれば、個人個人で決めるのではなく、学校単位で決めてほしい。そういった意見は聞かせていただき、検討の材料とさせていただきます」と回答した。
- 事務局： 組み合わせは絶対ではなく、地元から出た意見も検討材料とするということだが、審議会がこれから検討する組み合わせも変わるということか。
- 事務局： 市、教育委員会としてはこの方針で進めさせてもらいたいという前提を説明した上で回答した。ただ、地域や保護者から「別の組み合わせが良い」という意見が挙げれば承る。審議会としては再編方針の内容が適正か適正ではないかを審議いただき、答申いただきたい。
- 委員： 審議会で審議する段階で組み合わせを変えるべきだという結論になれば、再編方針で示されている組み合わせはなくなるということか。
- 事務局： なくなるかどうかは、審議会から答申をいただき、市及び教育委員会が方向性を確定するまでは分からない。
- 委員： 審議会として「他の組み合わせを考えた方が良い」という意見がまとまれば、そのように答申すれば良いということか。
- 事務局： そのとおりである。
- 委員： 先回の答申内容を市議会文教厚生常任委員協議会へ説明した際に「統合の組み合わせを考慮する考えはあるか」という質問が出た。それに対してどのように答弁したのか。
- 事務局： 基本的には地元で説明した内容と同じである。
- 委員： 鯨波小学校区からの意見の中に「地域向けの情報を紙面で発信するよう検討してほしい」とある。審議会が傍聴できたり、ホームページで情報発信しているが、市民の方は自分の地域でなければ見ていないように感じる。今回の再編方針はいろいろな地域が対象となっているため、審議している地域以外にとっても、どの地区がどのように進んでいるのかが分かる方が良く思う。例えば、広報かしわざき特別版やSNSなどで進行状況を報告してはどうか。
- 事務局： 先回は鯖石小学校と高柳小学校、東中学校と第五中学校の統合の是非について審議会として結論を出したが、今回は何を結論として出せば良いのか。どの組み合わせにするかを答申するのではなく、市が策定した再編方針についてどう考えるかを答申すれば良いのか。
- 事務局： 審議会はどの組み合わせが良いかを決める場ではないため、教育委員会が策定した再編方針が良いかどうか審議いただきたい。先回の鯖石小学校と高柳小学校、東中学校と第五中学校の審議と同様の考え方、結論の出し方で審議を進めてほしい。
- 委員： 昨年の審議と比べ、保護者、地域はかなり理解しているように感じる。私も審議会は組み合わせを考えるのではなく、教育委員会が策定した再編方針についてどう考えるかを審議すべきだと考えるため、事務局はそれを地域等に明確に説明した方が良い。
- 事務局： また、地域説明会で出た意見が挙げられているが、検討材料とするため、教育委員会がどのように回答したかを教えてほしい。
- 事務局： 地域説明会での教育委員会の回答は次回用意する。
- 委員： 今回の方針が検討十分なのか不十分なのかを知るため、統合対象となっていない地域の意見も聞きたい。
- 事務局： 意見として承る。
- 委員： 地元から意見を聞くに当たり、組み合わせに関する意見が多く出ると思う。ただ、審議会は適切な組み合わせを考える場ではないため、教育委員会

から事前に、そういった意見をどこにどのように提出すれば良いのかを地元
に説明してほしい。そうすることで今後の意見拝聴会や意見交換会を円滑に
進めることができると思う。

事務局： そういった意見を挙げてはいけないということではなく、意見があれば審
議会ではなく教育委員会へ挙げていただきたいと説明する。

委員： 組み合わせは複数あるわけではなく、再編方針の他に1通りくらいしか考
えられないと思う。再編方針の組み合わせだと適正規模を満たさないが、付
近の他の学校を統合対象として加えれば適正規模を満たすことから、なぜ付
近の学校も統合対象としないのかという疑問が地域からも挙がるのではない
か。地域としてはそこが納得できないと議論が進まないと思う。

会長： この件は、次回、事務局から説明してもらおう。

私から2点ほど意見を述べる。

1点目は統合の組み合わせという点で、鯨波小学校と米山小学校の統合先
は5人が別の学校に言及しており、人数のことだけを考えれば、300人を
超える剣野小学校と統合するよりも中規模の学校と統合した方がバランスが
良いと感じる。再編方針ではなぜそうしなかったのかも次回に説明してほし
い。

また、他の組み合わせを審議会ではどう扱うかだが、これは昨年の中中
学校と第五中学校の統合の審議の際にも他の学校を含める意見が挙がった。そ
の際に私は「答申には様々な形がある。再編方針の組み合わせが適切でなけ
れば、他の組み合わせも選択肢としてある」と述べた。組み合わせを変える
ことを全く審議会では扱わない訳ではなく、例えば他の組み合わせも考えられ
るため、もう一度検討すべきだという答申の出し方もある。様々な形がある
ことは頭に入れておかなければならない。ただし、他の地域も含めた答申と
なると審議会としてその地域の意見も聞かなければならなくなるため、かな
り労力を要する。また、諮問を受けた統合の組み合わせを検討することが大
前提であることはいままでもない。まずは地元で組み合わせに対してどれだ
けの要望があるかを見極め、審議会としての対応を考えたい。

2点目は中通小学校区の説明会で「できれば2つの小学校が一緒になり、
新しい小学校としてスタートし、校歌、校名等も考えられれば良い」という
意見があった。基本的に今の学校統合は大きい学校へ小さい学校の子どもが
移り、ほとんどの場合、結果として大きい学校の校名、校歌、校章を継続し
て使用するという吸収統合のような形で進んでいるが、地域にはこういう意
見もある。大きい学校と小さい学校が統合する場合、新たな学校としてス
タートするなら統合される側の感情も少し違うと思う。今後、市としてもそ
ういった選択肢を検討する必要があると思う。

続いて、児童数・教職員数の推移について事務局の説明を求める。

事務局： (資料2に基づき説明)

(補足説明)

・令和4(2022)年度までは特別支援学級を含めた学級数を記載し、括
弧書きで特別支援学級数を記載してあるが、令和5(2023)年度以降は
特別支援学級在籍児童数が分からないため、特別支援学級を除いた学級数を
記載した。

会長： 今の説明に対して質疑はあるか。

委員全員： 質疑なし

会長： 続いて、スクールバス運行計画について事務局の説明を求める。

事務局： (資料3に基づき説明)

(補足説明)

・これが決定ではなく、統合が決まった場合にはこれを基に保護者、学校と
話し合いながら運行計画を決定する。

・今月から鯖石小学校・高柳小学校統合準備委員会が始まった。その会の中

でもスクールバスに関する意見をいただいております、次回から具体的な運行計画を検討する。

- 会 長 : この運行計画は、まだ地域に示していないものか。
事 務 局 : これから示すものである。
委 員 : 資料3-2の中に三中の生徒と同乗する路線があるが、定員に余裕はあるのか。
事 務 局 : 具体的な人数は今答えられないが、十分に乗車できる人数である。

【その他】

- 事 務 局 : 次回の審議会は、2月24日（金曜日）午後6時30分から市役所4階4-3、4-4会議室で行う。
- 会 長 : 次回の審議会では今回の報告の不足部分について事務局から説明を受けた後、全体質疑を行う。今日の質疑の中で要望があった「2件の統合で付近の他の学校が統合の対象とならなかった理由及び検討の経過」「地域説明会で出た地元からの意見に対する教育委員会の回答」を示してもらいたい。
- 委 員 : 付近の他の学校が統合対象とならなかったことの補足説明に加え、その学校の児童数の推移も示してもらいたい。
- 会 長 : 鯨波小学校と米山小学校は前回の学区等審議会でも統合対象校として挙げられていたが、鯨波小学校は当時の統合目標年度である平成24（2012）年度までに複式学級にならないことから統合対象から外れ、米山小学校は地元の合意が得られないことから統合見送りになった。このことは前回の答申に記載されているが、その当時の地元の意見や審議会の議論が分からない。可能であれば、前回の議事録等から、米山小学校統合の同意を得られなかった際に地元からどのような意見が挙げられたのか、これに対し審議会でもどのような議論をしたのかなどが分かると、教えてもらいたい。

2月に3校区で行われる地域説明会について、基本的には審議会は傍聴することとなるが、去年は審議会で聞きたいことを整理し、地域へ質問する時間を用意してもらった。今回は審議が始まって早々の説明会であり、審議会で質問を整理する段階ではないと思う。ただ、せっかくの機会なので、多少時間をとってもらい、その場で質問がある委員から質問してもらいたい。

- 委 員 : 今日の新聞に中通地域活性化に向けて地域が取り組んでいるという記事が掲載されていた。地域づくりと統合問題が絡んでくると複雑になることが予想されるが、市はそういった動きを把握しているのか。地域が移住者を増やそうとしている中で学校がないと、移住者は転入を躊躇してしまうと思う。市と地域がかみ合っていない部分があると懸念している。
- 会 長 : 関わっている委員がいるので、このことについて補足はあるか。
- 委 員 : 今日そういった記事が掲載されたが、統合問題に関して、その動きを意識して議論する必要はないと思う。今回の取り組みは移住、定住に直接的に関係するものではなく、人口減少を前提に地域の関係人口を増やすためのものである。今回の取り組みと学校統合の審議は切り離して考えた方が良く思うし、地域の活動にとってもその方が足かせにならないと思う。
- 事 務 局 : 鯖石小学校・高柳小学校統合準備委員会を1月19日から開始した。原則、月1回の開催だが、内容によっては回数が増減することがある。校名、校歌、校章を決める全体会、地域活動の洗い出しや後援会の組織づくりを行う地域部会、PTA会則やスクールバス路線などを検討するPTA部会を組織し、統合に向けた準備を行う。審議会へ報告すべき事柄があれば随時報告させていただく。

以上、相違ないことを確認する。

令和5年（2023年）2月24日

会 長 阿 部 義 章

副会長 徳 永 優 子